

眠 ねおん 音

季刊 [Neon] Vol.44 2017 Winter

特集
絹 — シルク —

CONTENTS

巻頭 目次

02 特集 絹 — シルク —

08 コラム

ねむるはなし vol.1
— 泊体験のすすめ

09 『石田屋』が注目する
作家たちの世界

16 北極圏で命を守る
羽毛布団を超える羽毛布団

18 冬に暖かく眠るための5つのコツ

20 【ねおんの視点】
靴デザイナー 立野千重

22 『ガマダンダイニング』のレシピをアレンジ！
「七十二候めぐり飯」の
人気メニューを作ってみよう

24 編集後記

巻末 石田屋イベントスケジュール



眠 ねおん 音

Vol. 44

季刊 [Neon]

2017 Winter

撮影 / 藤森祐治



特集
絹
—シルク—

煮ることでほぐれやすくした繭の表面から糸口を探し出し、いくつかの糸口を何本かよりながらまとめると生糸になる。1つの繭からできる糸の長さは約1500メートルにもなる。



古くから重宝されてきた、「シルク」の新たな可能性。

5000年前もの昔から、中国でその利用が始まったといわれるシルク。野生の蚕の繭を集め、糸を紡いで作られた絹織物。それらが、紀元前4〜3世紀には中近東からヨーロッパ・北アフリカを結ぶ東西交易路を通じ地中海諸国へと伝わり、やがて、中国の長安（現在の西安）からコンスタンチノーブル（現在のイスタンブール）を結ぶ道を、シルクロードと呼ぶようになります。

また、日本での歴史も古く、その製法が伝わったのは弥生時代。江戸時代には品質改良により養蚕技術が発達し、横浜や長崎での貿易では日本の重要な輸出品の一つに。さらに、その流れを汲んで、1872年には、当時の製糸工場として世界最大規模の富岡製糸場が操業を開始。その後、日本では富国強兵のもと、本格的な機械製糸業時代が到来し、養蚕の先進国として世界を牽引していったことは広く知られた通りです。

シルクと違ってまず思い浮かぶのはその光沢ではないでしょうか。その気品のある光沢は、よく真珠に例えられます。また、いろいろな染料に美しく染まり、繊細な図柄を鮮やかに染め分けることができることから、これまでは、主に着物やフォーマルウェアやドレスに用いられてきました。その分、木綿やウールといった日常的な素材に比べ、高級で扱いにくいイメージがありますが、決してそんなことはありません。

最近では、美容と健康に優れた効果を持つシルクの特徴が次々と明らかになり、肌着や寝具、化粧品や健康食品に至るまで、様々な用途に活用されるようになってきています。

美と健康への優れた効果、
機能を併せ持つ天然繊維。

生きている糸と書いて「生糸」と
読むように、シルクは文字通りの天
然繊維。化学繊維を含め、健康や美
容の面で、シルク以上の品質を持つ
ものはないといわれています。



昔からシルクの精練作業を行う職人
さんの手は、なぜいつも美しくみ
ずみずしかったという。絹糸の外側
を覆うセリシンには保湿性に優れた
アミノ酸が多く含まれており、ツル
ツルお肌に。



シルクについて教えてくれたの
は、愛媛県今治市にある『株式
会社伸和』の澤典司社長。シル
クを愛し、シルクを知り尽くす、
まさにシルク博士。世界的な有
名ブランドをはじめ、『石田屋』
にも多くの商品を提供している。

シルクが身体にやさしい理由として第一にあげられるのが、肌の成分に近い、約20種類のアミノ酸を含む良質なタンパク質でつくられている点。その成分は、人間への抵抗が非常に低く、外科手術でシルクの糸を使うと、抜糸する必要がないと言われるほど。アトピーなどの皮膚疾患にも刺激が少なく、他のどんな繊維よりも肌にやさしいことが知られています。また、内側のタンパク質を包み込むように付着しているのがセリシンと呼ばれる物質で、保湿性が高く、紫外線をカットすることから、近年では美容化粧品としても注目が高まっています。

そして、吸って吐く、吸湿性と放湿性を兼ね備えているのもシルクの特徴で、そのことにより、温かいけど蒸れない、最高に快適な肌触りを実現。さらに、天然繊維の中で最も細くて長いシルクは、柔らかく、薄くて軽い布地をつくることができ、様々な商品に加工されています。

その特性を知れば知るほど、私たちの生活には欠かせない素材であることがわかるシルク。様々な分野で豊かさをもたらしてくれるシルクを暮らしに取り入れてみてください。

繭を機械でひっぱって、綿状にしたものによりかける。そうすることで、寝具やパジャマに適した、やさしい肌触りの糸が完成する。原料となる繭の良し悪しによって絹紡糸の品質も変わってくる。



繭から綿(わた)をつくり、そこから糸にした絹紡糸。フワッと肌にやさしい、着心地のよい、肌触りの柔らかなものをつくるのに適しており、着物で使われるような普通の生糸とは光沢も触感も異なる。



『石田屋』おすすめのシルク寝具。

『石田屋』がおすすめするオリジナルのシルク寝具。肌にやさしく、汗をよく吸い取り、ホコリが出にくいのでアレルギーの方も安心して使用いただけます。



(中綿:シルク綿100% 側生地:綿100% ドイツ製ジャガード織) 「シルク敷き布団」



「しけ絹ピローケース」

(絹 100%)

滑らかなシルクをパイル状にし、ストライプ柄に仕立てたシーツは、ほどよいぬくもりがありながら、さらっと張りのある感触が心地よい。その肌触りはシルクならではの。洗濯しても乾きがとても早いのでお手入れなども簡単。12,000円(140×240cm)。



「シルクパイルシーツ」

(パイル絹糸100% ※地糸 綿100%)



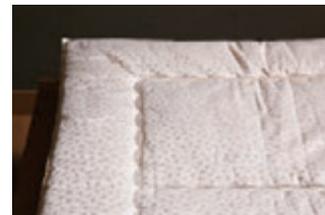
パイルが抜けにくい方法で製織し、ほとんど埃が出ないため、アレルギーを持っている人やほこりが苦手な人も安心して使うことができる。ほどよい重みの安定感でシーツとしても使用できる。Sサイズ20,000円、ハーフサイズ11,000円。



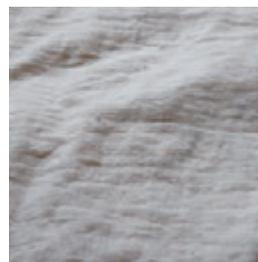
「シルクパイルケット」

(パイル絹糸100% ※地糸 綿100%)

シルク特有の布団に入ったときの冷感がなく、暖かさにくるまれて眠ることができる。綿状にしたシルク綿を入れて仕上げてあるためリフォームが可能。敷き布団やマットレスに重ねての使用で寝心地の良さがさらに増す。Sサイズ120,000円。



シルク掛け布団もあります。
「シルク合掛け布団」(中綿:シルク100%、側生地:シルク100%)SLサイズ150,000円



「手引き真綿掛け布団」

(中綿:絹100%手引き真綿 側生地:綿100%)

絹をガーゼ綿生地で和綴じした掛け布団は、軽くて、羽二重餅のように柔らかい。薄手の掛け布団は毛布のように使え、真夏以外、一年中愛用できる。ウォッシュアップ加工を施すことで自宅での洗濯が可能に。SLサイズ48,000円、babyサイズ32,000円。

富山の「松井機業」がつくる「しけ絹」は、2頭の蚕でひとつの繭を編むことで生まれる独特の肌触りが魅力。抗酸化作用と細胞の活性化をうながす「セリシン」を残したしけ絹をピローケースとして使うことで、美髪や美肌効果が期待できる。11,000円。

※価格は全て税別です。
商品のお問い合わせは「石田屋」各店へ。

[コラム]

ねむるはなし

vol.1 一泊体験のすすめ

洋服を買うときは必ず試着をします。まずは身体に合うサイズか。また、肌触りや着心地が好みに合っているか。さらに、自宅で洗えるかといった洗濯やお手入れ方法などもチェックします。あるいは、自動車を買うときは、予算や車種を決めていたとしても、いくつかの車種に試乗し、走り心地はもちろん、デザインや安全面、機能性まで気を配ります。では、寝具はどうでしょうか。購入時にお店で寝心地を試してみたくても、ゆっくり試しにくい環境で、横になってもすぐに飛び起きたり、靴を履いたまま上半身を預けるだけにとどめてしまったら。

寝具は1年365日、毎日7〜8時間もの間、身体をすべて任せざる道具です。同じ家族であっても、体重や体型はそれぞれで、体質も異なりますし、寝室が違えば、室温や湿度も変わります。いざ布団を買おうと店に向かっても、たくさんの布団やベッドが並んでいたら、どれを選んでよいやら分からなくなり、結局、

これくらいならと思える「価格帯」だけで選んだり、勧められるまま「なんとなく」選んだり、結果、満足できないという方も多いようです。子育てを終え、仕事も一段落し、これから終のすみ家と暮らし方を考えるとき、寝具はとても大切な要素となつてきます。気持ちの良い時を過ごすために「本当はどんな寝具が私に合っているのか」を正しく理解して、これから先、「どんな眠りを手に入れたい」のかを考えてみる機会をつくりましょう。

まずは、自分の身体と体質を知り、そして、どんな寝具が眠りやすいのかを知ること。それから、あなた自身が手に入れたい「ねむり」を叶える寝具を選んでいきましょう。

専門店だからできること。あなたに合う寝具選びのアドバイスをいたします。お店で心ゆくまで体感してください。そして、もう一歩進んで、一晩、質の高い睡眠を体感してみてください。

『ガマダン』ゲストルーム 一泊体験でとことん確認しよう!

一人ひとりに合う寝具をとことん検討した組み合わせをセッティング。一泊して睡眠を体感する。気になるところをチェックできるから、安心&納得して寝具の購入ができます。



ガマダン一泊コース 15,000円(税別) / お一人様・夕食付
利用可能時間 / 午後〜翌午前 ※1日1組(大人2名)限定
※仮予約は利用希望日の2週間前までの受付です。
※月・火曜日はご利用いただけません。
詳しくはスタッフまでお問合せください。
【問合せ】gamadan / ガマダン Tel.076-298-4800
営業 / 10:00~19:00 休 / 火曜



『石田屋』が注目する
| 特集 | 作家たちの世界



薪の窯の「焼きしめ」によって生まれる奇跡の美。



急須作家
村島
順

どっしり重厚でありながら、どこか繊細で洗練されたかたち。そして、何より、一つとして同じものが存在しない重層的な色彩の美しさ。さらに、水切れなどの機能性に優れ、お茶を淹れる時間を楽しく豊かなものにしてくれる。福井県の越前町に工房を構え、薪の窯を使った「焼きしめ」の手法にこだわり、そんな急須を30年以上にも亘って作り続けているのが村島順さんです。

電気が主流となり、今では全国的にも珍しくなった薪の窯。年に一度、昼夜を問わず4日間、ひたすら焚き続ける窯の最高到達温度は1300度以上。その窯で焼かれる時にかかる灰が自然釉となり、その一つひとつに、えもいわれぬ景色と独特の質感が加えられていく。ただ、思い通りにいくかどうかは別の話で、いくら経験や研究を積み重ねても「窯だけはやってみないとわからない。良いものになればいいなあって、毎回ベストを尽くしてやっているんだけど」と村島さんはいいます。

同じ土、同じ窯を使っても、二度と同じ物はずくれない。そんなところに、村島さんの急須の神秘的ともいえる美の秘密がありそうです。



豊かな自然に囲まれた『鮎工房』。その名は大好きな溪流釣りにちなんだもの。自分の城ともいえる空間の中で、JAZZや落語を聞きながら創作に没頭する日々を送る。



村島順 急須展

12月7日(木)~17日(日)

営/10:00~19:00 休/火曜 会場:『ガマダン』

作家在店/9日(土)13:00~17:00、10日(日)13:00~16:00

関連企画「お茶をたのしむ時間」

『鈴風舎』の岩岸恵美子さんと一緒に、村島さんの急須でお茶を淹れて味わうひととき。広くて深いお茶の世界に、自分だけのお気に入りを見つけてみませんか。

全2回 12月8日(金)15:00~ 12月10日(日)15:00~

参加費 2,000円(税込) 各回定員10名

『鈴風舎』(りんふうしゃ)

長町武家屋敷通り奥にある、お茶屋のお茶カフェ。創業慶応三年酒見銘茶店の加賀棒茶を中心に、多様な日本茶を楽しめる。



村島順(むらしまじゅん)

京都府生まれ。大学を卒業後、舞台芸術の仕事を経て、1978年に福井県の越前陶芸村に移住。古川陶苑で修業の後、1985年、越前町八田に薪の単窯を築窯。以来、焼きしめの急須を中心に花器や酒器なども作陶。全国で個展を開き、高い評価を得ている。

独特な世界観をもった「陶」と「織」の豊かな融合。

陶作家

中嶋寿子

×

織物作家

樋口佳苗



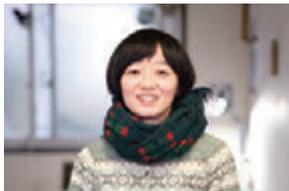
中嶋寿子さんは、貝のようでもあり、化石のようでもある、不思議な質感をもったアクセサリーやオブジェをつくる陶作家。動物や植物をモチーフにした作品には、時空を超えてやってきたような独特の雰囲気があり、それらはすべて「あらゆるものごとが脳内に無意識に蓄積されていた記憶の断片と、やきものという技法が重なり合って生まれている」と彼女は話しています。

一方、樋口佳苗さんは、カシミアやウールなどの素材を用いて、ゆつくりと丁寧な、上質なテクスチャを生み出す織物作家。「タテ糸とヨコ糸が合わさって新しい色ができる瞬間が好き。絵具だと色を混ぜるとどんどん濁っていきませんが織物は濁らない。鮮やかな色の粒が集積していただくのです」と語るように、彼女が織りなす作品には、一本一本の糸の美しさが際立っています。

12月に『石田屋 犀川店』で開かれる二人展のタイトルは「海底のうずまき」。同展では、樋口さんが織った生地で作られた洋服のボタンが中嶋さんの陶でできている、という試みも。二人の世界がどう融合するのか、今から期待が高まります。



二人展「海底のうずまき」では、樋口さんの「海底」を感じさせる織と、そこに発生する「うずまき」のような中嶋さんの陶が融合する。



中嶋寿子(なかじまとしこ)
神奈川県生まれ。女子美術大学を卒業後、金沢卯辰山工芸工房に入所。修了後、石川、東京、神奈川などを中心に積極的に個展を開催している。



樋口佳苗(ひぐちかなえ)
新潟県生まれ。女子美術大学を卒業後、就職するも、作家を志して退職。今年4月に金沢から転居し、現在は東京都の自宅にて制作を行っている。

中嶋寿子・樋口佳苗 二人展「海底のうずまき」

2017年12月9日(土)~24日(日)

作家在店/9日(土)・10日(日)

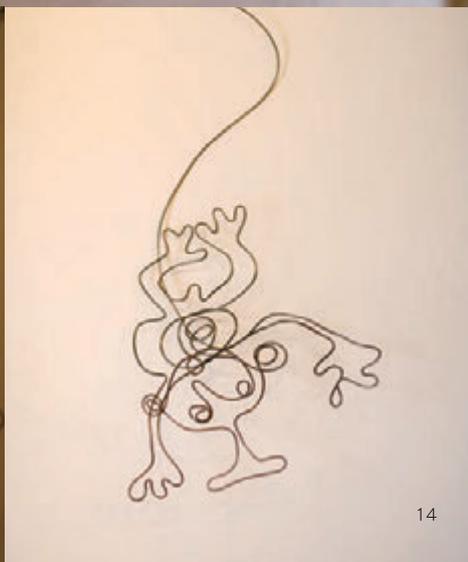
営/11:00~19:00 休/火曜

会場/『石田屋 犀川店』

ポジティブな気持ちを覚えたものをかたちに。

アーティスト

大森慶宣



金沢で美術活動を行う大森慶宣さん。本質を一瞬で捉え、一筆で描き上げる技法「ワン・ストローク」。その技法を用い、出会った人たちの似顔絵を即興で描き、笑顔を届けてきた新進気鋭のアーティストです。

小さい頃から絵を描くのが大好き。就職のことを考え、一旦は教育学部に進学したものの、留学先のアメリカでアートを専攻し、再び自分と向き合い、生き方を見つめ直すことで「自分の好きなことをやっていこう」と決意したといいます。

「アーティストは、絶対に満足してはいけない。常に挑戦しなければいけない。それから、自分自身とも戦わなければいけない」と大森さん。留学時に学んだその精神は、今でも創作活動の礎となっています。

現在、創作の軸となっているのは、一筆描きから派生した針金を使った立体作品。そして、油絵具にアクリル絵具、ペン、スプレー、クレヨン、鉛筆と、あらゆる画材を使い、キャンバスを好きなものや言葉で埋め尽くす絵画作品。自分が感じたものを、正直に、ありのままに。大森さんの作品にはいつも、彼のパワフルな「現在」が表われています。



描きたいものを、描きたいまま、自由に描く大森さん。彼の意識がまっすぐダイレクトに表われる作品には、なんともいえないパワーや生命力が溢れている。



大森慶宣(おおもりよしのぶ)

金沢大学在学中にアメリカに留学して美術を学ぶ。卒業後に本格的な美術活動を開始。見たものを一筆で描き上げる技法「ワン・ストローク」の技法で注目を浴び、金沢のほか、東京でのアートイベントにも積極的に参加。その活躍の場をどんどん広げている。

大森慶宣 個展「線の中の宇宙」

12月22日(金)~平成30年1月14日(日)

会期中在店

営/10:00~19:00(初日は17:00より)

休/火曜、年末年始

会場/「ガマダン」

北極圏で命を守る

羽毛布団を 超える羽毛布団



深々と冷える冬の夜、身体を布団に滑り込ませると、数分で手足の隅々まで温かさが広がってゆく。布団の重さをまったく感じず、暖かい空気だけが身体を包み込む。それが『石田屋』オリジナルの超軽量タイプ羽毛掛け布団です。

そんな羽毛掛け布団をさらに超える温かさを持つ、まさに、究極といえるの羽毛布団が存在します。世界の羽毛の最高峰「アイダーダックダウン」を使った掛け布団です。特徴を一言で言うなら、「暑くも寒くもない、丁度よさ」。布団に身を入れるだけで、部屋の寒さも、蒸れる暑さも感じない、安らかな体感を手に入れられる羽毛布団です。

極寒の北極圏、アイスランドに生息する野生の水鳥アイダーダックは、吹きさらしな平原のわずかなくぼみに産卵します。草の上に自らの柔らかな胸毛(ダウン)をさながらベッドのように敷き込んで産卵し、ひな鳥を孵します。

通常のグースダウンより細くて長いダウンは、鉤のような形をしていて、隙間なく複雑に絡まりあうため、わずかな量でも驚くほどの保温力と弾力性を併せ持っています。

そのパワーは世界に存在するすべての羽毛でナンバーワンといえます。厳しい自然の中で、か弱いひな鳥たちが無

事成長でできるのは、この十分に暖かく弾力がある母鳥のダウンが生み出すベッドのおかげなのです。

アイスランドで国際保護鳥に認定されているアイダーダックのダウンは、採取方法が厳しく定められています。アイダーダックは毎年同じ場所に産卵します。ひな鳥が巣立った後に巣に残されたダウンを、許可を持つファーマーだけが、巣を壊さないように

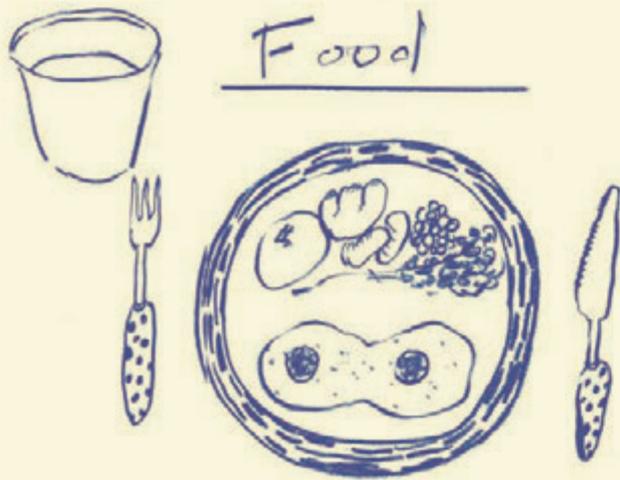
そつと採取します。そして、その収穫量も全世界で年間3000kg以内に定められています。掛け布団にするに3000枚程度。中でもトップグレードのアイダーダウンは800kg程度といわれ、そのうち500kgを抑えているのが、『石田屋』が羽毛を買い付けているカウフマン社です。

アイダーダックの絡み合ったダウンには、ホイップクリームのようなぼつて

りとした感触があります。指の隙間にまでじんわりと押しこめる感触は、アイダーダックダウン特有のもの。その安心感でいっぱいになるフィット感と温もりは、母親に抱かれていた遠い日を思い出させる優しさがあります。母鳥が卵を孵す愛情にあふれた世界最高品質の羽毛布団で、自然のパワーにくるまれて寝る「極上のねむり」を極めることができます。



『石田屋』ではアイスランドの農場よりアイダーダックダウンを直接輸入している。アイダーダックダウンがとれる場所は、北極圏の氷河の溶けた岩場で、6月でも氷点下以下の極寒の地。そんな雄大で厳しい自然の中でアイダーダックは育つ。

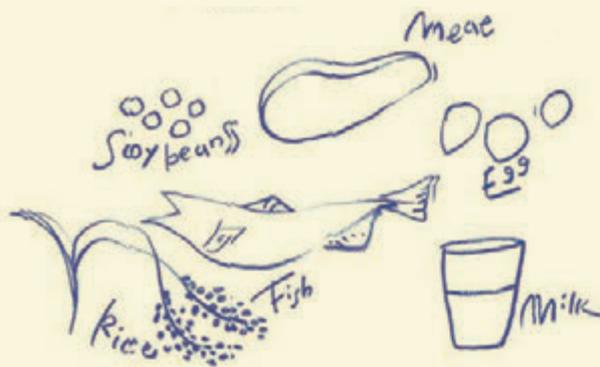


Food

冬に暖かく眠るための 5つのコツ

バランスのとれた
朝食を毎日とる。

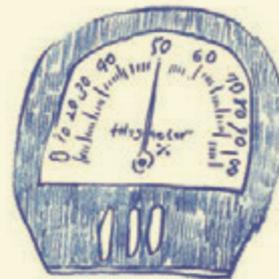
睡眠を助けるホルモン「メラトニン」は、生成されるまで15〜16時間かかります。材料は、必須アミノ酸「トリプトファン」で、肉・魚・卵・乳・大豆、お米に含まれています。よって、バランスのとれた朝食をとることは、眠りやすい体質をつくることにつながります。時間がないときは牛乳を飲むだけでも違います。



暖房機と除湿機で
快適な環境を保つ。

質の高い睡眠を得るために、簡単にできること。室内の温度や湿度に気を遣うだけでも快眠の助けとなります。冬は15℃くらいが適温で、最低でも10℃より下がらないようにする。湿度は50%程度。冬の北陸は湿度が高いので除湿器と暖房を上手に組み合わせ、ちょうど良い温度と湿度を保ちましょう。

12:00M Temperature



Body Temperature



身体を適度に温め、
手足の血管を開く。

手足の末梢血管が開くと身体
の中の体温が下がり、眠りやす
くなります。床に入る30分前ま
でに40℃目安のお湯で最低10分
は浸かる。冬場は、湯温が下がっ
てきたら追い焚きして、身体を
冷やさないように。寒いからと
高温のお湯に入ると、体温が上
がりすぎ、交感神経を刺激して
眠りにくくなってしまいます。

重ね着は逆効果。
部分的に温めて。

重ね着すると汗をかき、身体
を冷やしてしまいます。締め付
けないづくりのウォーマーで、
首・手首・足首・おなかを部分
的に温める、または、眠るときに
マスクをするのも効果的。鼻が
つめたいまま布団に潜り込むと、
呼吸が苦しくなったり、布団に
湿気がこもって蒸れ、眠りが浅
くなるので注意してください。

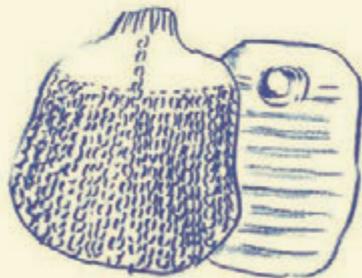
Warm



布団乾燥機を使って、
程よく布団を温める。

湿気をため込んだ布団は保温
力が落ちます。布団乾燥機は余
計な湿気を飛ばす上、程よく布
団を温めるので、体を温め、眠り
やすくしてくれます。電気毛布
や炬燵は身体を温め続けてしま
うので、汗をかき、身体を冷やし
てしまいます。また、血液中の水
分を蒸発させてしまう点からも
おすすめできません。

Warm Futon



世に生み出す必要のあるもの、
後世にまで大切にされるものを。



プロフィール／立野千重(たちのちえ)
石川県金沢市生まれ。フランス留学中に会ったヴィンテージシューズに魅せられ、浅草やロンドンで修業。現在は金沢にアトリエを構える。その独創性の高いデザインで注目を集めている。
問い合わせは info@tachinochie.com
HPアドレスは <http://tachinochie.com/>

「ねおんの視点」 立野千重

靴デザイナー

他に類をみないボタンブーツや
バックルシューズ。その圧倒的な美
しさは言うまでもなく、独特な存在
感によって、受け手、一人ひとりの
想像力を膨らませる。デザイナー立
野千重さんが作りだす靴には、一度
目にしたら忘れられない、そんな不
思議なチカラが溢れています。

「細かいステッチやボタンなど、や
はり自分が美しいと思うものを作り
たい。後世にまで大切にされるもの
を作れたらいいなと思っています」
かつてアパレル企業で企画デザイ
ンに携わっていた立野さん。ものが
過剰に生産されていくことに違和感
を覚え、必要な人や場所に、必要な



ものだけを届けたいと思うようになったといいます。満足いくまでサンプルを何度も作り直し、0.5ミリ単位の修正を重ねていく。一足一足に宿るディテールの深みは、そんな丁寧かつ手間をかけた手作業によって生みだされていきます。

そして、もう一つ、立野さんの靴づくりの特徴といえるのが、ロンドン修業の際に衝撃を受けた、細分化した分業制を採用している点。

「一人で取り組むと、広がりもあまり期待できないけど、人との協同により、可能性が無限に広がり、面白いことがどんどん起ります」

自らはデザインと品質管理に専念

し、パターンや縫製、底付けなどは、信頼のおける職人たちに託す。その傑出したクオリティの高さは、それぞれのプロフェッショナルによる高度な技術のアンサンブルの賜物とも言えます。また、コレクションでは、靴のみならず、バッグやルームシューズ、そして、今後は服飾アイテムと、その世界はさらに広がりをみせています。

「最も大切になっているのは人との関わり合い。その中で、想像が掻き立てられることが多いです」と立野さん。人とながることで生まれる、彼女の新たなクリエイションに、これからも目が離せません。



二十四節気「立春(りっしゅん)」

七十二候「東風解冻 (はるかぜ こおりをとく)」(2月4日頃)

暦が一巡し、最初に登場する「立春」。春を知らせる東から吹く風が、凍り付いた湖や川を溶かし始め、眠っていた生命が動き出す。さあ、新しい年の始まりです。

雪を溶かす、温かく可愛らしい

「雪だるまのスープ」

【材料】(4人分)

- 大根…1/3本 ●市販のビーフコンソメ…14g
- お湯…3カップ ●焼きのり…適量 ●ニンジン…少々

【作り方】

- ① 大根をおろして、ざるで余分な水分をきる。
- ② 焼きのりをキッチンばさみでカットし、ニンジンを小さく切る。
- ③ 大根おろしで雪だるまをつくり、カットした海苔を貼り付け、ニンジンの帽子をかぶせる。
- ④ お湯にコンソメを溶かし味を調える。
- ⑤ スープ皿に雪だるまをいれ、食べる直前にスープを注ぐ。

～シェフからのひとこと～

鶏ガラスープの素で中華風に、醤油・塩で調味した出汁で和風に、献立に合わせてどうぞ。雪だるまは冷凍庫で1～2週間保存できます。



『ガマダンダイニング』のレシピをアレンジ!
「七十二候めぐり飯」の
人気メニューを作ってみよう



可愛らしい表情の雪だるま。
身も心も温かくなるスープ。



『ガマダンダイニング』の新メニュー

季節のカレー 1,500円

(サラダ・ピクルス付き)

年齢・性別を問わず人気のカレーが『ガマダンダイニング』に登場。スパイスの香りを移したオイルに、たっぷりの季節の野菜を炒めこんだカレーの隠し味は『ガマダンダイニング』の秘密の調味料。コクと野菜のうまみたっぷり、飽きのこないおいしさです。玄米と白米、古代米をミックスしたライスと一緒に、どうぞお召し上がりください。

～シェフからのひとこと～

スパイスいっぱいのスリランカ風カレーに旬の野菜をたっぷり。とてもヘルシーなカレーです。



※テイクアウト(冷凍)あり。カレールー・ごはん(1食分)1,500円



『ガマダンダイニング』 金沢市高尾3-4-1 ☎076-298-7800

営/11:30~19:00(L.O.18:00) ※ランチはラストオーダー15:00 休/火曜

【メニュー】昼:ランチ[コース]2,000円(ドリンク別)、他

夕:ランディナー[コース]3,000円、他

カフェメニューもあり ※価格は全て税別です。



次号／
「眠音 vol.45 2018 春号」は
3月発刊予定です

〈編集後記〉

今年は、大きな変化が次から次へと発生した。
大きな変化って大変でしたが、楽しいですね。
一番の楽しみは、初孫の誕生!!
子供より可愛い。目の中に入れても痛くない。
確かにその通りだ! (笑)
本当にこの世に生まれてくれて、有難うございます。

田中和昭

寒い夜は着込むより、シルク博士が心血注いだ優しい素材を選ぶ。
取材先の作家たちの作品へ向かうエネルギーに、身体の底から熱くなる。冬を暖かく過ごす本当のコツ。

八木勢津子

心地よい眠りが体験できる店舗を作りたい。『石田屋』はそんな気持ちずっと持ち続け、2年前に叶いました! 『gamadan』の宿泊睡眠体験! 日本中、世界中の方々にお越し頂きたいです!

大道めぐみ

これは! と感じるものには「思想」がある。大量に生産され、ただ消費されていくものにはない、作り手の「思想」が滲みでているもの。その尊く純粋な美しさにいつも圧倒されています。

愛山達也

久しくの一人暮らしから一変、大人3名、赤子1名、わんこ1匹のにぎやかな生活となったババ修行。毎朝、布オムツを洗濯し、量み、カバーにセットすることから一日が始まる。朝ご飯を作り、夜ご飯を考える、幸せな楽しい日々。こんな日がずっと続けば良いナーと妄想にひたっている。

田中佳美

「シルク繭玉」読者プレゼント

特集「絹ーシルクー」でご紹介した繭玉をプレゼントします。お湯に数分浸して表面が柔らかくなったら指にはめ、優しくマッサージしてください。角質や毛穴の汚れがすっきり取れて肌がつるっとし、セリシンの力で美白効果も期待できます。



1袋12個入りを15名様に

【応募方法】 郵便番号・住所・氏名・電話番号・アンケートの回答(①『石田屋』の商品で気になるもの ②『眠音』でどんな内容を読んでみたいか)をそれぞれご記入の上、ハガキでご応募ください。応募期間後に厳正な抽選の上、当選者を決定いたします。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。※賞品の発送は2月上旬頃を予定しております。

【応募期間】 2017年12月1日(金)~2018年1月31日(水) ※当日消印有効

【応募先】 〒921-8152 金沢市高尾3-4-1 石田屋 ガマダン
「眠音」44号読者プレゼント係

石田屋イベントスケジュール

gamadan / ガマダン

村島順 急須展

12月7日(木)～12月17日(日)

— 関連企画 — お茶を楽しむ時間

12月8日(金)・12月10日(日) 各回定員10名

クリスマスの贈り物～AveMaria祈りを込めて～

12月16日(土)ディナー付き

出演:藤井幹人(トランペット)

藤井ひろみ(ソプラノ・フルート) 井口愛弓(ピアノ)

大森慶宣 個展「線の中の宇宙」

12月22日(金)～平成30年1月14日(日)

黒瀬恵オルガンコンサート

平成30年1月27日(土)ランチ付き

出演:黒瀬恵(オルガン)

上田智子ランチ&ディナーコンサート

平成30年2月10日(土)

出演:上田智子(ハープ)

昼の部(ランチ付き)・夜の部(ディナー付き)

尾田伊生 木工展

平成30年3月21日(水・祝)～4月2日(月)

NUNOテキスタイル展

平成30年3月

犀川店

足型健康チェック アーチサポートインソール体験

12月2日(土)・3日(日)

ゆるふ整体

12月2日(土)・3日(日) 平成30年2月3日(土)・4日(日)

眠りを誘う ヘッドセラピー&フェイシャルエステ

12月3日(日)

中嶋寿子・樋口佳苗 二人展「海底のうずまき」

12月9日(土)～24日(日)

あつこメソッド コリを芯から改善!

12月15日(金)～17日(日)

平成30年1月19日(金)～21日(日)

平成30年2月23日(金)～25日(日)

天然スキンケアアグリベルお試し体験&アフターフォロー

12月10日(日)・11日(月) 平成30年1月14日(日)・15日(月)

和座店

足型健康チェック アーチサポートインソール体験

12月1日(金)～3日(日)

天然スキンケアアグリベルお試し体験&アフターフォロー

12月9日(土) 平成30年1月13日(土)

眠りを誘う ヘッドセラピー&フェイシャルエステ

平成30年1月17日(水)・18日(木)

石田屋さん家で くるみど展

平成30年2月1日(木)～28日(水)



ISHITAYA

gamadan / ガマダン

金沢市高尾3-4-1
☎076-298-4800
10:00～19:00
火曜定休

犀川店

金沢市清川町1-1
☎076-280-4800
11:00～19:00
火曜定休

和座店

能美市大成町156
☎0761-55-3737
10:00～19:00
火曜定休

A・UN店は2017年11月末日
をもって閉店いたしました。
長らくのご愛顧を誠にありがと
うございました。

『石田屋』冬期休暇 12月30日(土)～2018年1月3日(水)

眠音

ねおん

Vol.44
Winter

2017年12月1日発行 編集発行人／田中佳美 発行／(株)石田屋 〒921-8152 金沢市高尾3-4-1 ☎076-298-4800
本書の全部または一部を無断で複写することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。 © Ishitaya Co.,Ltd. <http://www.ishitaya.com> Printed in Japan

定価300円

税別



ISHITAYA

www.ishitaya.com